

令和3年度 高島市立学校 学校教育到達目標

マキノ東小学校	1
マキノ西小学校	2
マキノ南小学校	3
マキノ中学校	4
今津東小学校	5
今津北小学校	6
今津中学校	7
朽木東小学校	8
朽木西小学校	9
朽木中学校	10
安曇小学校	11
青柳小学校	12
本庄小学校	13
安曇川中学校	14
高島小学校	15
高島中学校	16
新旭南小学校	17
新旭北小学校	18
湖西中学校	19

令和3年度 学校教育到達目標 高島市立マキノ東小学校

〈児童生徒の実態〉

- ・指示されたことには真面目に取り組める児童が多い。
- ・論理的に書いたり表現したりする力に差が大きい。
- ・見通しをもち筋道を立てて考えることが苦手な児童が多い。
- ・活力は感じられるが、周囲を意識して自己表現が乏しい児童が目立つ。

〈めざす子ども像〉

- 夢を持ち、自ら考え学ぶ人
- 人も自分も大切にできる人
- 元気にやりぬく人

〈めざす学校像〉

- 学ぶ喜びがあり充実できる学校
- 明るさに満ちた安心できる学校

〈本校の教育課題〉

- ・学びの基礎基本の徹底と思考力、判断力、表現力の育成
- ・自ら考え行動する態度の育成
- ・自己有用感の醸成
- ・ふるさとを愛する心の醸成
- ・日常的な健康づくり習慣の確立
- ・家庭、地域の学校づくりへの参画

〈学校教育目標〉

ふるさとを愛し
心身ともに健康で
自ら学び挑戦する人の育成

〈地域の実態等〉

- ・恵まれた自然環境
- ・歴史ある街並み、高い文化
- ・学校教育への高い関心と期待
- ・少子高齢化
- ・新興住宅地の増加と旧市街の人口減少

〈中期的目標〉

- 確かな学力をつける園小中一貫教育の推進と着実な積み上げ
- 家庭、地域とつながる学校の構築
- 知・徳・体のバランスの取れた児童の育成
- びわ湖を中心とした自然や地域と共生する力の育成
- 主体性を育て、生き方を学ぶ教育の推進
- 「いじめ」「不登校」のない安心、安全な学校づくり

〈R2学校評価 概要〉

- ・読み解く力を高めるための「読解力」「書く力」の向上を意識した授業づくりと授業改善に係る職員研修の充実 A
- ・読書環境の充実と読書活動への意欲の喚起(図書室の整備と蔵書の充実) B
- ・予習・復習等効果的な学習スタイルの構築と一定の家庭学習時間の確保 B
- ・意見交流や情報収集・共有のためのツールとしての日常的なタブレット利用 A
- ・あいさつの習慣形成、いじめ撲滅に向けた児童の主体的な取組の展開 A
- ・課題のある児童への組織的な対応力の強化 A
- ・保護者に対するいじめへの理解促進 A
- ・適正なスクリーンとの接触についての理解促進 B
- ・自然教室を始め地域素材、地域人材等を生かした教育活動の一層の充実 A

【本年度の指導力点】

○学びの基となる基礎基本の徹底

- ・学習規律の徹底
- ・読書環境の充実と読書の奨励
- ・読解力、書く力の向上
- ・日々の学習習慣の定着
- ・個別支援の充実

○子どもをつなぐ学びの創造

- ・道徳の授業をはじめとする児童が主体的に考え、表現する授業づくり
- ・仲間とともに考え、解決することに喜びを感じられる授業づくりの工夫
- ・ICT機器の有効活用

○豊かな人間関係と社会性を育む教育の推進

- ・あいさつ、へんじ、くつそろえの習慣形成(中学校区共通実践)
- ・いじめをしない、させない、見逃さない取組の徹底
- ・特別支援教育の充実
- ・人間関係づくりの充実と保護者との連携強化

○地域のよさを生かした教育の充実

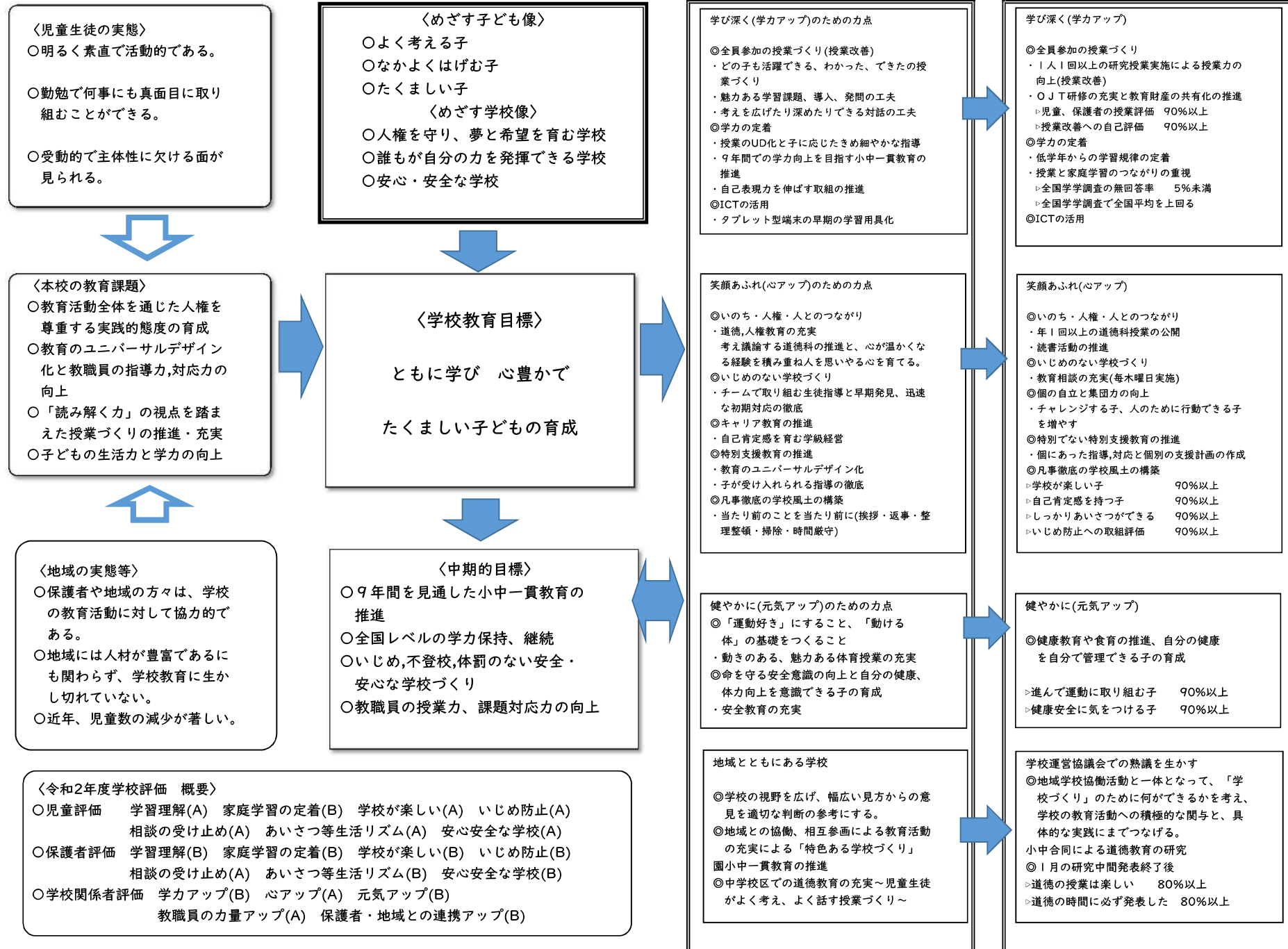
- ・校区全域を生かした学習活動や環境教育の実施
- ・自然教室への取組による、達成感や感動の感受及び琵琶湖環境保全への意識高揚
- ・故郷を愛する心の醸成
- ・園小中一貫教育の推進

○健康の保持増進と体力の向上

- ・体力づくりへの意欲の向上と目標をめざして頑張りぬく児童の育成
- ・自分の健康について考え、管理できる力の向上

【到達目標・数値目標】

- ・『マ東漢字検定』『予習復習ノート』の実施による学習習慣の確立と学習意欲の向上
- ・家庭学習は、「読書、宿題、予習・復習」を合わせて、1年20分、2年30分、3年45分、4～6年60分以上【目標90%以上】
- ・『パワーアップタイム』による活用力を中心とした学力向上(毎週金曜日40分)及び個別指導の実施
- ・読書貯金の実施、家読(週末読書)の取組【Q「読書貯金の目標達成に向けて頑張っている」R2 76% → 目標90%以上】
- ・互いの思いを出し合える集団づくりに向けた継続的な実践【Q「授業中進んで発表したり話し合いに参加したりしている」R2 81% → 目標90%以上】
- ・主体的、対話的な学習に向けた道徳科を中心とした授業改善【Q「授業中友達と話し合う活動がよくある R2 90% → 目標95%以上】】【「道徳の学習が好き」目標90%以上】
- ・タブレットの日常的活用
- ・全校児童による異年齢集団(縦割り活動)活動の充実
- ・児童が主体となったいじめ撲滅に向けた取組の継続
- ・いじめ点検や情報交換会によるいじめや不適応の早期発見、未然防止[週1]
- ・課題のある児童への組織的対応の充実と保護者への効果的な発信、連携
- ・集団づくり、特別支援教育に係る職員研修の実施
- ・地域とともに進める自然教室の実施
- ・町内合同マラソン大会の実施
- ・地域人材によるキャリア形成につながる学習
- ・その他、各学年における地域学習の実施(3年:西内沼学習・水鳥観察、4年:葦簀学習等)
- ・活動を支えて下さる人々への感謝の思いの伝達と交流
- ・【「マキノが好き」目標100%】
- ・園小中一体となった道徳科授業の改善
- ・学校運営協議会の活動充実
- ・地域学校協働活動の推進
- ・年間を通したマラソン、なわとびの取組による継続的に運動に取り組む態度の育成
- ・「早寝・早起き・朝ご飯」の推進
- ・家庭でのゲームやネット利用の自己管理能力育成
- ・【Q「ゲームやインターネットをする時間は合わせて1時間以内」R2 55% → 目標70%以上】



〈児童生徒の実態〉

- ・誰にもあいさつができる。
- ・学習、部活動、学校行事など意欲的に学校生活をまじめに頑張る。
- ・受け身的であり、自ら行動を起こす意識が低い。
- ・学力差が見られる。

〈めざす生徒像〉

世の中の事象に柔軟に対応し、自ら行動し、変化を生み出そうとする生徒

- 自他の良さを認め、お互いを大切にできる生徒
- 夢や目標の達成のため日々努力し、自分の生活をコントロールできる生徒
- 学校の課題に気付き、解決するために、自ら考え行動する生徒
- マキノ町を見渡し、地域に自ら役立とうと行動する生徒

〈めざす学校像〉

- 「チームマキノ」を合言葉に地域とともにある学校
- 挑戦し、変化を創り出す学校
- 自ら考え行動できる力を育てる学校
- マキノを愛し、自信をもって教育活動を推進する学校

〈本校の教育課題〉

- 自らが主体的・自主的に活動する生徒をどう育成するか。
- 新学習指導要領への対応に向けた授業改革
 - ・主体的対話的な学習の確立
 - ・ICTの活用

〈学校教育目標〉

品位・気魄・和合

校訓
「自ら行動し、変化を生み出す」
キャッチフレーズ
「チャレンジ・・・変化に挑む」

〈地域の実態等〉

- ・少子高齢化が進む地域
- ・三世同居家庭は多いが、さまざまな支援が必要である。
- ・PTA活動や学校行事への参加率は高く、協力的である。
- ・地域の方は依頼すれば協力的である。

〈中期的目標〉

- 主体的に学ぶに向かう態度の育成
- 何事も自主的に行動する態度の育成
- よく考えよく話す道徳教育の推進
- 新教育課程に向けた研鑽を積む教職員
- 全教職員で全生徒を育てる組織

〈令和2年度学校評価の概要〉

- ・授業がわかる 98% ・家庭学習1時間 64% ・読書月2冊以上34%
- ・10kmロードレースの充実 92% ・部活動の充実 89% ・いじめ点検月2回実施

(関係者評価) 地域学校協働本部が中学校に設置され、地域と学校が繋がる第一歩となった。来年度は具体的な協働活動が進み、活性化させていきたい。学校運営協議会が教職員やPTAと話す機会を設け、生徒の現状や保護者の希望を話し合えるとよい。

【本年度の指導力点】

◎ 学力の向上

- ・基礎基本の徹底
- ・家庭学習の定着
- ・学び合う学習の充実
- ・表現・言語活動の充実
- ・教科横断的な学習の構築

◎ ICTの活用

- ・ICT機器による課題解決学習やプレゼンテーション活動の充実

◎ 豊かな心づくり

- ・「考え議論する」道徳教育の充実
- ・集団づくりの充実
- ・体験活動の充実
- ・読書の推進
- ・生徒指導の充実
- ・ボランティア活動の充実

◎ いじめ

- ・生徒主体のいじめ撲滅活動の充実

◎ 健康な心身の育成

- ・健康な生活リズムの確立
- ・自己管理の定着
- ・食育の推進
- ・部活動の充実

◎ 保護者・地域とともにある学校の創造

- ・総合的な学習の時間を活用した地域との連携
- ・積極的な情報発信

◎ 園小中一貫教育の推進

- ・道徳教育の研究を柱に、9年間を通してよく考え、よく話す授業づくりを行う。進んで自分の思いを伝える環境を調えることにより、豊かな心を育む。
- ・小中合同道徳授業研究の充実

【到達目標・数値目標】

- 生徒90%以上が「授業がよくわかる」と回答
- 生徒90%以上が家庭学習を毎日60分以上
- 全授業で1分間スピーチの実施
- 教える授業から学ぶ授業へと改革
- 主体的対話的な活動を設定した授業実践
- 個人探求A(教科探求)による、教科の課題克服
- ICT機器を活用した授業実践

- 生徒80%以上が「道徳は楽しい」と回答(よく考え、よく話す道徳授業づくり)
- 生徒会活動や縦割り活動を通じた生徒主体の学校行事
- 「いじめ点検」を月2回実施
- 朝読書の充実、月2冊以上の読書

- 夜11時までに寝る生徒が80%
- 給食の完食 90%
- 生徒90%以上が部活動が充実していると感じる
- 10kmロードレースの達成感90%以上
- 生徒90%以上「学校に来るのが楽しい」と感じる

- 個人探求B(地域探求)による地域の方とのつながりを深める
- 「メール配信」の充実
- 年間2回の保護者・生徒アンケートの実施と学校評価結果の公表
- 安全・危機対応職員研修の実施
- 保護者対象「いじめ点検」月1回
- 学校運営協議会と地域学校協働活動の充実
- 「夢カード」による9年間を見通したキャリア教育
- 道徳の合同授業研究会の実施

〈児童の実態〉
 ○素直で、人なつこい。
 ○多様な個性、あふれる好奇心。
 ●読み取る力や伝える力が弱い。
 自信、意欲、根気、達成に課題がある。
 ●学習意欲に個人差が大きい。
 ●個別支援を要する児童が多い。

〈めざす子ども像〉
 ○かんがえ(知) 学びの楽しさを知り、自ら学びに向かう子の育成
 ○おもいやり(徳) 自他を愛する豊かな心の育成
 ○たくましい子(体) 体力や気力、生きる力の育成
 ○地域に学び、地域を愛する心の育成(郷土愛)
 〈めざす学校像〉
 ○地域とともにある学校
 ○安全・安心が守られた信頼される学校

学びの楽しさを知り、自ら学びに向かう子の育成のためのカ点
 ◎学びの意味や多様な学び方の獲得と学習意欲の向上
 ◎ICT教育、個別最適化された学び・協働的な学びの推進
 ◎「読み解く力」の育成と授業改善

かんがえ(知)
 ◎児童の自己評価「勉強がわかり、できる」85%、「授業中、自分の考えをよく発表している」70%。
 ◎「ICTを活用した授業に取り組んでいる」教員の割合90%以上(前年度88%)。
 ◎「読み解く力」を意識した授業づくりに努め、グループ学習を効果的に実施。

〈本校の教育課題〉
 ○新型コロナウイルス感染症への対応
 ○基礎学力の定着、思考力・表現力に課題
 ○人間関係の構築に支援を要する児童が多い。
 ○通常学級において特別支援を必要とする児童が多く、きめ細かな支援が行き届きにくい。

〈学校教育目標〉
 心身共に健全で
 創造性豊かな子の育成
 ・思いやりのある子
 ・ふかく考える子
 ・強くたくましい子

自他を愛する豊かな心を育成するためのカ点
 ◎いのち・人権
 ・生活の合言葉／あしたの3つ「あいさつ、しんせつ、たいせつ」
 ・毎月10日は「校内人権の日」
 ◎いじめゼロの実践
 ・いじめ撲滅に児童会が主体となって取り組む
 ・PTAや地域の団体等と連携し、地域ぐるみで思いやりの心を育む

おもいやり(徳)
 ◎いのち・人権
 ①「学校に来るのが楽しい」の自己評価80%以上(前年度80%)。
 ②校内人権の日に、教員が交代で人権啓発のメッセージを伝える。
 ◎いじめゼロ
 「学校は、いじめ問題に誠実に取り組んでいる」の保護者評価80%以上(前年度53%)。

〈地域の実態等〉
 ・豊かな自然、歴史文化伝統に恵まれた環境を有する。
 ・過疎化の進む地域と新興住宅地があり、個性豊かで価値観も多様である。
 ・少子化の進行に伴う児童数の減少に歯止めがかからない。
 ・家庭や地域の教育力は一定保たれつつも、協力が得にくい家庭もある。

〈中期的目標〉
 ○言語能力の向上を図り、正しい用語による論理的な表現力の育成を図る。
 ○成就感や達成感を高める行事の工夫と連帯感や充実感を深める学級づくり
 ○すこやかタイムの定着と保健安全指導の工夫

体力や気力、自立する力を培うためのカ点
 ◎規則正しい生活習慣の定着
 ◎体育的行事のほか、外遊びを励行し、健康でたくましい身体を育成
 ◎体験学習や異年齢集団での学習機会等により、生きる力(生活力・自立する力)を育成

たくましい子(体)
 ◎「すこやかタイムをはじめ、学校教育活動全般で体力づくりを図る」の自己評価90%以上(前年度96%)。
 ◎「異なる学年の友だちとも仲良く活動できる」児童の割合80%以上(コロナ禍のため前年度の指標なし)。

〈R2学校評価 概要〉
 ・(児) 学校が楽しい80%、勉強がわかりできる83%、授業中、自分の考えをよく発表57%。
 ・(教) よくわかる授業92%、ICTを活用した授業88%、問題行動の早期発見92%。
 ・(P) 子どもは学校へ行くのを楽しみにしている80%、先生は子どもをよくほめている71%。
 ・(学運協) 全体的に、コロナ禍のため教師と児童、学校と保護者や地域の意思疎通が希薄になっている。メール配信などで、もっとオープンに学校の様子を知らせていくべきだろう。また、「地域とともにある」とはということか、学校が支援をもらうことにとどまらず、地域と一緒に活動できることが大事である。委員も、地域の声を吸い上げてくれるようなしくみになるとよい。

地域とともにある学校
 ◎信頼される学校・期待に応える学校
 ◎学校運営協議会と一体となった学校運営
 ◎地域学校協働活動のさらなる充実
 小中一貫教育の推進
 ◎小中一貫教育標準カリキュラムの活用
 ◎児童生徒の交流の促進

◎学校運営協議会
 ・熟議を経た意見をもとに、全委員が執行者として学校運営に何らかのかかわりを持つようにする。
 ◎小中一貫教育
 ・小中一貫教育標準カリキュラムを活かした授業づくりに努める。

〈児童生徒の実態〉

- ・明るく元気で、外遊びを好む。
- ・素直で人なつこく、与えられた課題にはまじめに取り組む。
- ・困難なことに立ち向かおうとする気概にやや欠ける。
- ・学習意欲に差が見られる。

〈めざす子ども像〉

- ・基礎基本となる力を持ち、理解力・活用力をのばす子ども
- ・自他を愛する豊かな心を有する子ども
- ・健康でたくましい身体を有する子ども
- ・地域を知り、地域を愛する子ども

〈めざす学校像〉

- ・自ら学び、考え、行動する力を持った子どもを育てる学校
- ・児童の学力向上に努める学校
- ・人権意識を高め、豊かな人間性を育む学校
- ・たくましく生きるための健康な心身を育む学校
- ・地域に開かれ、地域の願いに応える学校

学びあう子の育成のためのカ点

- ◎ 考えたことを話し合い、言葉を工夫して表現する学習活動の工夫
- ◎ 主体的な学びにつながる、わかる授業の実践
- ◎ ICTの活用
 - ・興味関心を抱かせ、思考につなぐ資料や考え方の提示
 - ・情報機器を使った学習の工夫とまとめ発表機会の工夫

学びあう子の育成

- ・「授業が分かる」と回答する児童・・・85%以上
- ・家庭学習時間の定着化
20分(1,2年)10分×学年(3年以上)
- ・話し合いを取り入れた学習活動
主体的・対話的で、深い学びの実現
各教科で単元のまとめ等々随時実施
- ◎ ICTを使った学習活動
 - ・タブレットの効果的な使い方について各教科の学習活動を通じて進める。

〈本校の教育課題〉

- ・児童が主体的な学びに向かうことができるよう、基礎基本の習得にむけた授業づくり
- ・豊かな心と人権意識を高めるための道徳の授業の工夫や学習機会の設定
- ・家庭学習の充実を図るための保護者との協力連携
- ・郷土愛の育成につながる教育活動の推進

〈学校教育目標〉

すすんで やさしく たくましく

人を思いやる豊かな心と自ら学ぶ意欲を持ち、ふるさとを愛する心身ともにたくましい子どもの育成

豊かな心を育むためのカ点

- ◎ いのち・人権を大切に
 - ・「いのち」の大切さを全教科・領域を通じた指導
 - ・学級や縦割り活動における、好ましい人間関係づくり
- ◎ いじめをなくそう
 - ・日常生活の中で、「楽しい学校」について考えさせる。
 - ・人権集会を契機として自分たちからいじめをしない環境づくり

思いやりの心・豊かな心を育む

- ◎ いのち・人権・思いやり
 - ① やさしい言葉をかけられた経験 85%以上
- ◎ いじめのない学校づくり
 - ① 学校が楽しいと回答できる児童 90%以上
 - ② 場にあったあいさつがしっかりとできる。 85%以上

〈地域の実態等〉

- ・旧川上村を中心とした学区であり、農業により生活を支えてきた地域である。三世同居の家庭も多く、これまでの伝統を大切に、地域で学校を支えているという風土がある。
- ・PTAの事業には協力的である。

〈中期的目標〉

- ・学力の基礎基本の定着を図り、自分の考えたことを表現につなげる。
- ・行事を通して成就感や自己存在感を深める学級づくり
- ・日頃から健康と体力を高めようとする意欲を育てる保健・安全指導の展開
- ・地域の特色を知り、ふるさとを愛する心身の育成

健やかなからだづくりのためのカ点

- ◎ 体を動かすこと・外遊びの奨励と環境整備
- ◎ 体づくりの推進
 - 自らの健康に関心を持ち、健康な毎日を送るための保健指導を推進

健やかな体

- ◎ 児童の体力向上への意欲を高める授業づくりや運動環境の工夫
 - ① 外遊びをする子 85%以上
 - ② 運動が好きと答える児童 95%以上
- ・昼休みを利用した児童会企画(なわとび大会やドッジボール大会)で体力増進の機会を設定

〈R2学校評価 概要〉

- ・教育の場が児童にとって厳しい状況の中であっても、地域の中で大きな役割を担い祭りや伝統行事を学校が支えて、繋いでくれている。学習面、いのち、人権の大切さ、健やかな身体づくりの取組も大きく評価できる。
- ・保護者の信頼感もおおむね良好であるが満足感を持っていない保護者のニーズをつかんで手厚い支援を提供できるようにしてもらいたい。
- ・全部の先生が全校児童のことをよく見て下さるなど感謝している。家庭学習や読書、いじめや地域の方のかかわり方等大変なことと思うがそれは学校内で完結できることではないのでこれからますます外部やPTAの役割は大きいと思う。
- ・この1年間を通じて学習面だけでなく学校が日々の子どものことを考え努力している姿が見られた。言葉遣い、いじめ、あいさつ、自宅学習の時間等対象年齢の子どものことはかわっても毎年課題としてあがる項目のように思う。保護者に積極的に関わってもらう発信も必要だ。

地域とともにある学校

- ◎ 地域の教材の効果的活用と、地域人材からの学ぶ場を創出する。

小中一貫教育の推進

- ◎ 発達段階に応じた学習規範の統一
- ◎ 小中教員による授業づくり
- ◎ キャリア教育の推進

学校運営協議会

- ・学校と地域がつながる機会や方法について協議し、地域に開かれた学校づくりに努める。

小中合同による授業づくり

- ・共同授業研究を機会として、学区内の児童生徒の学力状況や学習課題にせまる。
- ・将来を見据えたキャリアパスポートの有効活用

令和3年度 学校教育到達目標

高島市立今津中学校

<生徒の実態>

- ・まじめで素直な生徒が多い。
- ・生徒同士の仲がよく、協力して物事に取り組める。
- ・行事や学友会活動などに主体性に取り組める。
- ・基本的な生活習慣や学習習慣が十分定着していない。
- ・人間関係づくりが苦手な生徒が増えている。
- ・特別な支援を要する生徒が増えつつある。

<めざす子ども像>

- ・あいさつや掃除がしっかりでき豊かな心と社会性を身につけた生徒
- ・確かな学力を身につけた生徒
- ・明るく元気で思いやりがあり、切磋琢磨しながら誰ともうまく関わる生徒
- ・自分の考えを持ち、仲間のことを考えて行動できる生徒
- ・夢や希望、望ましい生き方を見つけ、目標に向かって粘り強く努力できる生徒

<めざす学校像>

- ・保護者や地域から信頼される学校
- ・明るく前向きに活動し、活力がある学校
- ・互いを認め、高め合い、温かさが感じられる学校

<本校の教育課題>

- ・確かな学力の定着
- ・豊かな心と感性の育成
- ・健やかな心身の育成
- ・特別な支援を要する生徒への対応
- ・不登校を減らす重点的な取組
- ・社会的自立の育成
- ・保護者と教師の信頼関係づくり

《校訓》
真理の探究・正義の実践・平和の愛好

《教育目標》
ふるさとに愛着をもち
豊かな心と社会性を育み
夢の実現を図る生徒の育成

<地域の実態等>

- ・教育に関心があり、学校に対する期待は大きい。
- ・保護者へ学校の情報や考えが伝わりにくい。
- ・家庭の教育力が弱くなりつつある。
- ・地域や生徒のためなら労を惜しまない人が多い。
- ・地域の未来を担う中学生を地域で育てようとしている。

<中期的（3年間）目標>

- ・積極的に学ぶ姿勢をもった生徒を育成する。
- ・感動や成就感が得られ、豊かな心を育む体験活動を実施する。
- ・学友会活動により自主、自治能力の育成を図る。
- ・自ら学び、考え、正しい判断をし、規律正しく自分の行動に責任がとれる生徒を育成する。
- ・地域や保護者に信頼され、地域とともにある学校づくりを推進する。
- ・次期学習指導要領に対応した授業を展開できるよう、教師の授業力を向上させる。
- ・生徒に寄り添い、率先垂範する教師集団を確立する。

<令和2年度 学校評価の概要>

- 学力の向上 …C 毎日1時間以上家庭学習している。(生徒45%)
学校の授業はわかりやすい。(生徒87%)
- 豊かな心づくり…B 道徳の授業では自分の生き方についてしっかり考えた。(生徒86%)
学友会活動に積極的に取り組める指導・支援が行われている。(保護者80%)
- 健康な心身の育成…B 学校は楽しい。(生徒88%) 部活動に休まずに参加した。(生徒86%)
- 地域連携…C PTA活動は保護者によく内容が伝わり充実している。(保護者75%)
学校と地域が連携をとり教育を進めている。(保護者77%)

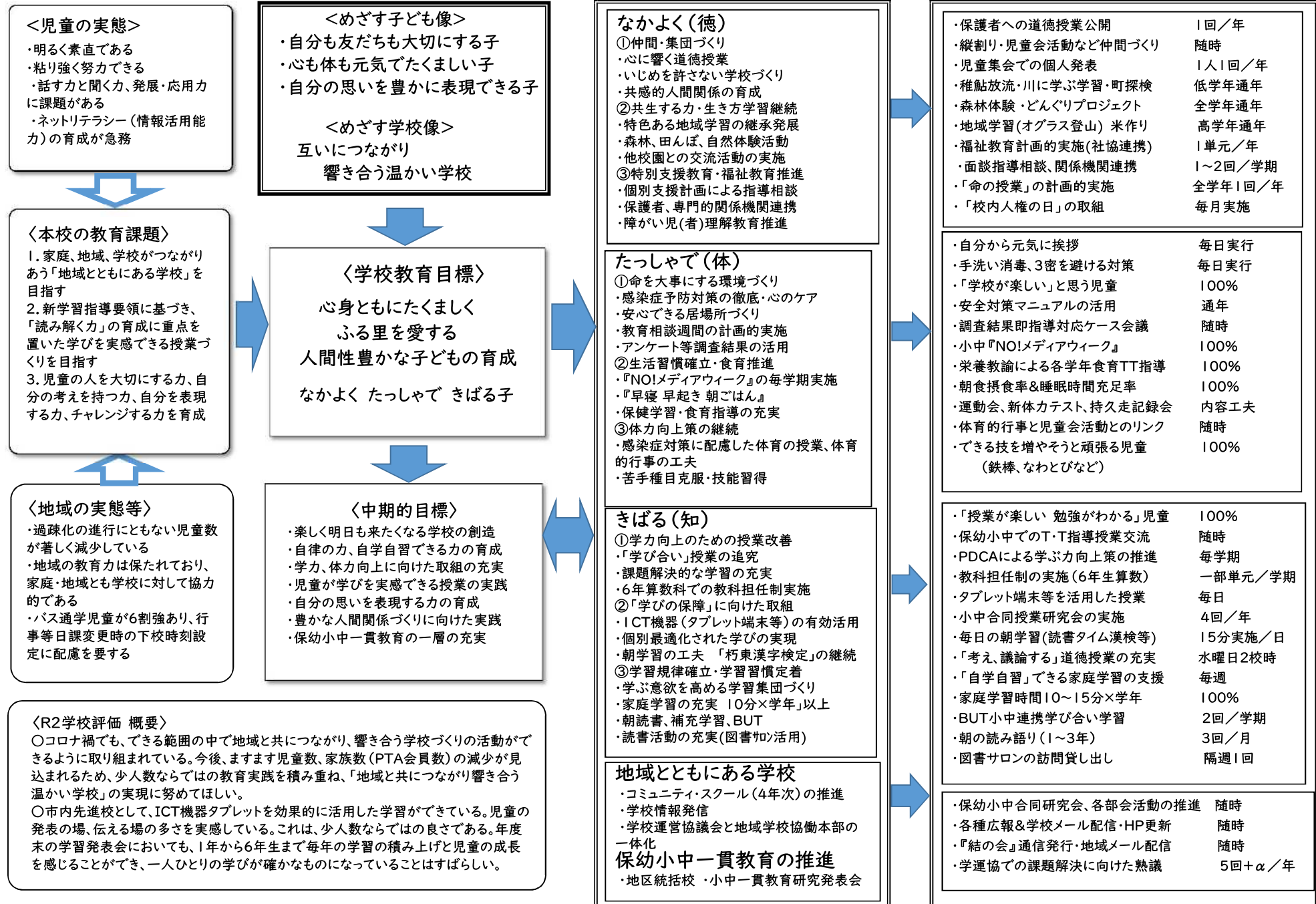
<本年度の指導力点>

- 学力向上・学習指導
 - ・主体的・対話的で深い学びの授業実践
 - ・朝読書の徹底
 - ・読み解く力の育成
 - ・話し合い活動の充実
 - ・基礎学力の定着
 - ・自己表現力の育成
 - ・ICT機器の有効活用
 - ・学習規範の徹底
 - ・家庭学習の充実
 - ・小中一貫教育標準カリキュラムの活用
- 豊かな心づくり
 - ・道徳教育の充実
 - ・キャリア教育の充実
 - ・体験活動の実施
 - ・集団を質を高める行事の実施
 - ・生徒指導の充実
 - ・いじめを許さない学校づくり
 - ・ボランティア活動の充実
 - ・学友会活動の活性化
 - ・教育相談の充実
 - ・特別支援教育の推進
- 健康な心身の育成
 - ・基本的な生活習慣の徹底
 - ・体験活動の充実
 - ・部活動の充実
 - ・自主トレの実践
 - ・社会性の育成
 - ・人や地域へ感謝する心の育成
- 地域連携
 - ・生徒の地域活動への参画
 - ・人・地域から学ぶ教育の推進
 - ・学校行事の工夫と実践
 - ・地域とともにある学校づくり
 - ・家庭、地域への広報活動
 - ・関係機関との連携

<本年度の到達目標：数値目標等>

- ・朝読書を徹底する生徒 90%以上
- ・授業中自ら学び、話し合い活動ができる生徒 90%以上
- ・各教科で「読み解く力」の向上に取り組む
- ・学習のルールをもとに学習規範を徹底する
- ・家庭学習を毎日1時間以上できる生徒 70%以上
- ・授業がよくわかると答える生徒 80%以上
- ・ICT機器を活用した授業実践に取り組む
- ・学習支援、補充学習を工夫する
- ・道徳の授業で自分のことや生き方について考えたと答える生徒 80%以上
- ・キャリアパスポートの活用と各学年講師を招聘した生き方に関する講演会を実施
- ・生徒の感性を磨く体験活動の実施
- ・職場体験を充実させる(生徒95%以上)
- ・ヤングボランティア活動への参加
- ・全校(生徒)集会を毎月1回実施
- ・学友会によるいじめ撲滅運動の推進
- ・各学期に生徒全員の教育相談を行う
- ・特別な支援を要する生徒に係る情報交換(月1回)
- ・学友会活動が充実した生徒 80%以上
- ・「学校が楽しい」と感じる生徒 90%以上
- ・学友会執行部を中心とした挨拶運動の推進
- ・10分間の掃除ができた生徒 90%以上
- ・体育祭の参加 95%以上
- ・部活動に休まず参加した生徒 90%以上
- ・地域の活動に1回以上参加 60%以上
- ・サポーター会や各種地域団体との連携
- ・地域とともにある学校(学校運営協議会、地域学校協働本部)の推進
- ・中学校区の地域学校協働本部との連携
- ・授業での外部指導者の活用 年間1回
- ・配信メールによる重要な連絡内容の提供
- ・学校だよりによる情報発信 毎月1回
- ・保護者の学校に対する満足度 80%以上

生徒の目標・保護者や地域に対しての約束



令和3年度 学校教育到達目標

高島市立朽木西小学校

<児童の実態>
 ・互いに仲よく物事に真面目に取り組む。
 ・明るく元気で、活動的である。
 ・多様な意見の中で自分の考えを深めることが難しい
 ・発展・応用力が不十分
 ・基本的な生活習慣に乱れあり。

<本校の教育課題>
 ・地域の豊かな自然や文化、人材を生かしたへき地校ならではの教育活動の工夫
 ・極少人数学級の良さを生かした学習指導の充実（自学自習）
 ・コミュニティ・スクールを軸にした「地域とともにある学校」の構築（学校と地域が連携・協働する体制づくり）

<地域の実態等>
 ・学校の教育活動に理解があり協力的である。（PTA賛助会員）
 ・学校を愛し、子どもに対する愛情が深い。
 ・地域の生活文化の伝承等の学習にも、講師として熱心に指導していただける。

<R2学校評価の概要>
 ○「チーム西小」小人数の学区なので、今後も先生・保護者・地域住民のコミュニケーションを計り、オープンな学舎に。
 ○地域とともにをモットーの学校なので、子ども・先生方ともども地域の住民もできることを協力していきたい。
 ○運動会、文化祭等地域住民と触れ合うことは、児童にとっても地域にとっても大変有意義なことであると思っている。今後も継続を。
 ○今年度は、コロナ禍の影響で思うようなことができなかつたためか、項目の中に昨年より低い評価が目立った。
 ○子どもは、それぞれ得意なところがあるので、それを引き出し、自分に自信を持てる子

<めざす子ども像>
○明るく健康な子ども <じょうぶで>
○深く考えやりぬく子ども<がんばる>
○心豊かな子ども <やさしい子>
 <めざす教師像>
 ○共感的な心と笑顔にあふれる教師
 ○わかる授業、楽しい授業のできる教師
 ○強い信念と謙虚さをもった教師

<学校教育目標>
**針畑を愛し心身ともにたくましく
 生きる心豊かな子どもの育成**
 ～トチの巨木のように
 大地にしっかり根を張って～
 <じょうぶで がんばる やさしい子>

<中期的（3年間）目標>
 ・へき地校ならではの教育活動の工夫
 ・保幼小中一貫教育の一層の充実
<東小との交流、遠隔合同学習>
 ・「**地域とともにある学校**」の推進
 ・キャリア教育の充実

<本年度の指導力点>

○明るく健康な子どもの育成
 1. 適切な言葉遣いの習慣化
 2. 体力の向上
 3. 安全・健康に対する自己管理
 4. 自主的、実践的態度の育成
 5. 防災・安全教育の推進

○深く考えやりぬく子どもの育成
 1. 自分の思いを豊かに表現し、深く考える指導の工夫 <自学自習の力>
 2. 学習意欲の向上と基礎・基本の定着
 3. 家庭学習の工夫と習慣化
 4. 体験を通した学びの充実
 5. 保幼小中一貫教育での学びの充実 <遠隔授業交流・遠隔合同学習>
 6. 外国語教育の推進
 7. 読書活動の充実

○心豊かな子どもの育成
 1. 人に「感謝」できる心の育成
 2. いじめを許さない学校づくり
 3. 考えを深め心にひびく道徳教育の推進
 4. きめ細かな教育相談の実施
 5. 系統立てたキャリア教育の推進
 6. マイスクール事業の推進

○地域とともにある学校づくり
 （チーム朽木西）
 1. 保護者や地域、関係団体・機関等との情報共有と信頼関係の構築
 2. 学校運営協議会の運営と地域学校協働活動の推進

<本年度の到達目標：数値目標等>

①TPOに応じたあいさつ、言葉遣いの定着
【每学期末自己評価】
 ②長休み・昼休み等を活用した全校での運動遊び【毎日】
 ③身の回りの整頓、**生活リズム定着**に向けた指導【毎日】
 ④「気づき、考え、行動する」の実践【每学期末自己評価】
 ⑤保護者や地域・関係機関等との連携による実践的な防災・安全学習【年間3回程度】<地域防災福祉組との連携>

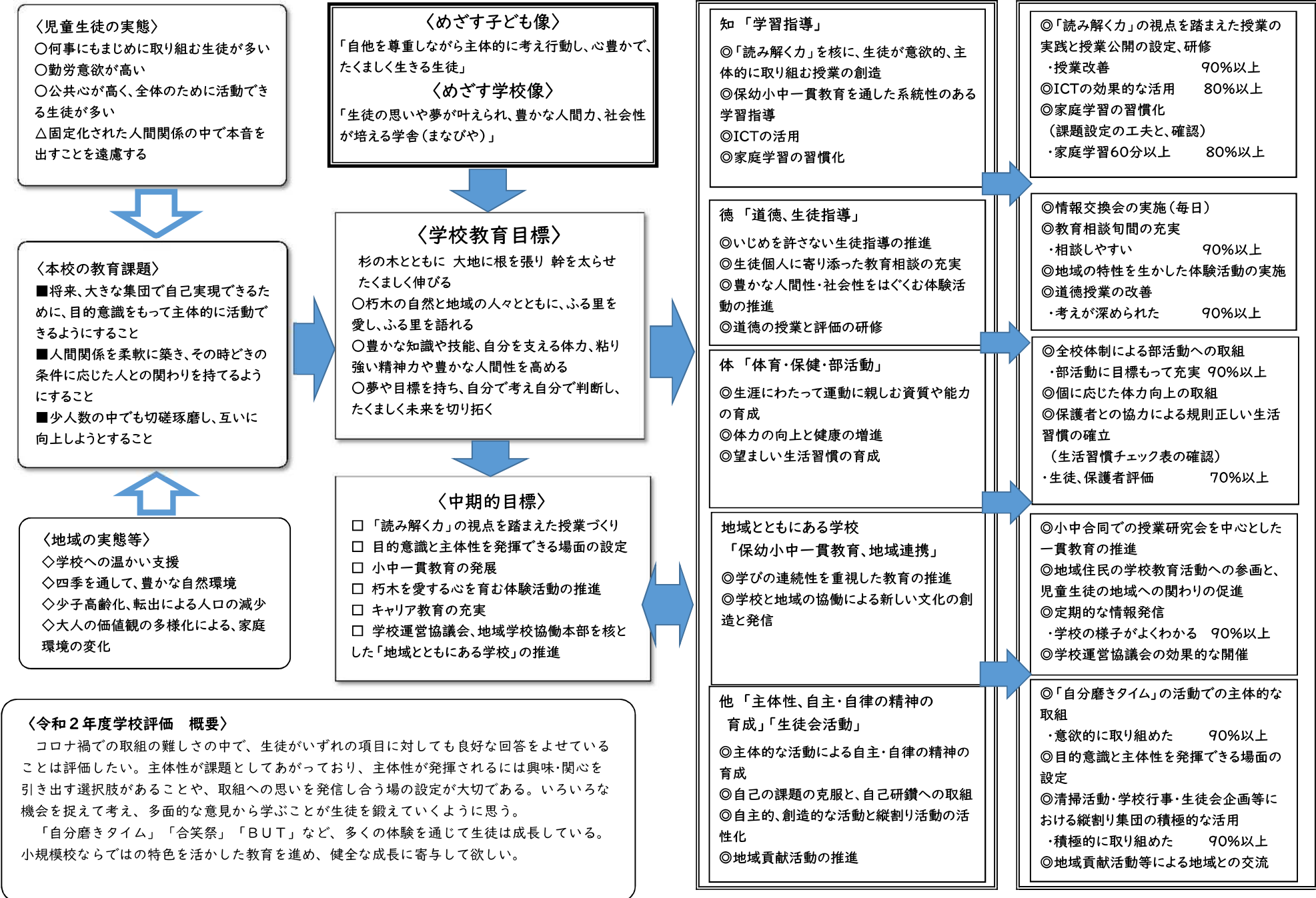
①極少人数の良さを生かした授業改善**（自学自習）**と個に応じた指導の工夫（年間2回の授業研究会の実施）【100%】
 ②「授業が楽しい、勉強がわかる」児童の評価【100%】
効果的なICT機器の活用（一人一台タブレット）【随時】
 ③家庭学習の工夫と習慣化【家庭学習実行率100%】
 ④地域、自然、文化を生かした体験学習【年間7回以上】
 ⑤東小中学校での交流学習・BUT・**遠隔授業交流・遠隔合同学習**や中学校教員による教科担任制授業の実施
 【年間複数回実施】

⑥コミュニケーション能力の素地を培う外国語指導助手とのTT授業（遠隔授業）【（低10時間）・中35時間・高70時間】
 ⑦読書の質の向上
 ・朝読の実施、家読の奨励、新聞記事の活用
 ・「お気に入りの1冊」発表会【每学期1回】
 ・読書量の増加【月：（低10冊）、中5冊、高3冊以上】

①人に感謝し、感謝されることを喜びと感ずる心の育成と仲間づくり【每学期末自己評価】
 ②児童会によるいじめ防止の取組【每学期1回】
 ③毎週水曜日2校時は全校道徳の時間。地域の人や保護者に参画いただく道徳授業の実施【年間1回】
 ④きめ細かな教育相談の実施と全職員による情報共有・対応【随時】
 ⑤「**夢のファイル**」等を活用したキャリア教育の推進
 【每学期末自己評価】

⑥**和太鼓演奏の技能の向上**とその成果の発表
 【運動会・文化祭・感謝祭・交流事業等年間5回以上】

①保護者会・学校評価等でのニーズの把握と学校だより・HP更新による情報発信【随時】
 ②学校運営協議会での学校教育目標や経営方針等の共有、課題解決に向けた熟議【年間5回】



〈児童の実態〉

- ・素直で明るく、人なつこい面が多くある。
- ・与えられたことには、真面目に取り組める。
- ・主体的に取り組む力が弱く、最後まで粘り強



〈本校の教育課題〉

- ・各教科における基礎的・基本的学習内容を確実に身につける。
- ・広瀬小学校との統合6年目を迎え、伝統を保持するために、新たな文化を創造する。



〈地域の実態等〉

- ・学校教育活動の推進に、理解と協力がある。
- ・PTA活動や学校行事には、積極的に参加され、協力的である。
- ・学校支援については、必要な時に必要な支援がある。
- ・保護者の価値観の多様化、生活基盤の脆弱化等、子どもに影響している。

【令和2年度学校評価の概要】

- ・(児童) 授業が楽しい、わかる88%、学校が楽しい88%、学校は居心地がよい80%
- ・(教師) ipadやプログラミング教育についての研修、総合学習の見直し、校内研究の推進
- ・(保護者) 学校に楽しく通っている95%、学校の学習を理解している90%、お便りや連絡文書等で、学校の様子をだいたい把握している93%
- ・(地域) 統合による新しい文化の一つとして、広瀬学区でのマラソン大会を実施。地域学校協働活動により多くのサポーターの協力を得た。

〈めざす子ども像〉

- ・心豊かに明るく健康な子
- ・仲良く学び合う子
- ・失敗を恐れず挑戦する子
- ・自主的・主体的に行動する子

〈めざす学校像〉

- ・生きる力を育む学校
- ・学ぶ楽しさを実感できる学校
- ・安心、安全で居心地のよい学校
- ・地域から信頼される学校

〈学校教育目標〉

「豊かな心と自ら学び考える
意欲をもつ 心身ともにたくましい
安曇っ子の育成」

合言葉

じょうぶで がんばる やさしい子

〈中期的(3年間)目標〉

- ・基礎、基本の確実な習得と、学び合いを活性化し、主体的、対話的で深い学びの創造
- ・読解力等言語力、活用力を高める授業の展開
- ・ICTの活用による、わかる、できる授業の創造
- ・道徳教育の充実で豊かな人間関係を育成し、いじめを絶対に許さない仲間づくりの推進
- ・健康、体力づくりと、豊かな心の育成
- ・小中一貫教育の推進による教育課程や生徒指導面での連携とキャリア教育の一貫した取組
- ・地域学校協働活動を核とした地域とともにある学校の推進

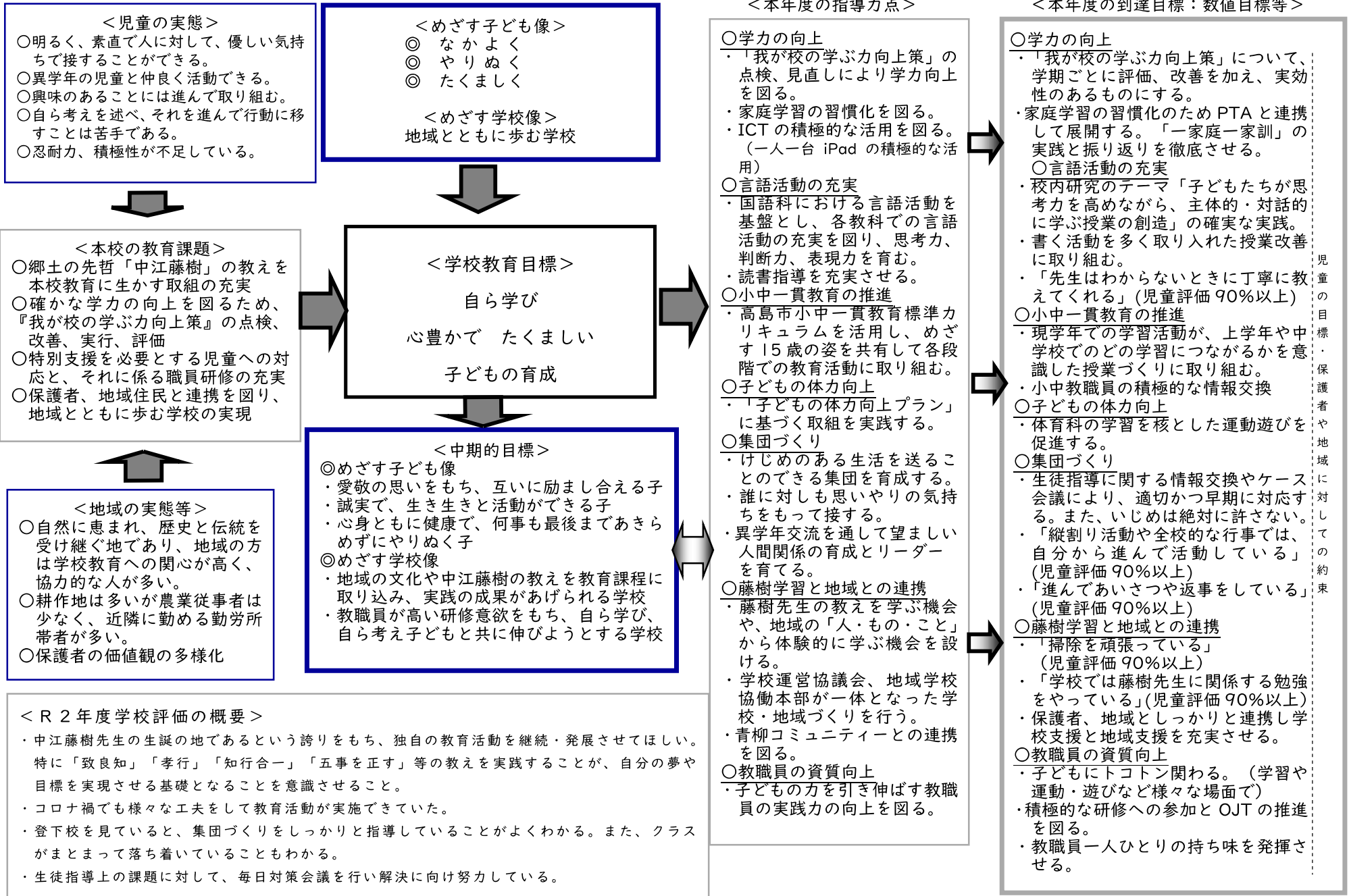
〈本年度の指導力点〉

- 自ら学び考え、行動する力を育む教育の創造
- ・魅力ある授業で、基礎的・基本的な学習内容の定着と主体的な学習の推進
- ・1人1台端末を生かした個別最適な学びと協働的な学びの実現
- ・地域学習や福祉学習を核とした生活科、総合的な学習時間の推進
- ・読み解く力を育成し、自分の言葉で表現する子の育成
- ・パワーアップタイム等による「書く力」の育成
- 〔学力向上スタグ「ド」8の具現化〕
- 〔我が校の学び力向上策の実践〕
- 豊かな心と良好な人間関係づくり
- ・児童によるいじめ啓発活動
- ・言葉遣いや言語環境の整備
- ・ソーシャルスキルとコミュニケーション能力の育成
- ・教育活動全体を通じて、道徳科の充実と藤樹先生の教えに学び実践する心の教育の推進
- たくましい心と体づくり
- ・業間運動、鉄棒や縄跳び、マラソン等の体力づくりの推進と自己の体力の課題改善に向けた取組
- ・食育の推進や早寝早起き等生活リズムの構築
- ・感染症予防と安全対策の徹底
- 小中一貫教育の推進
- ・学力向上や生徒指導面での連携推進
- ・児童にも教師にとってもメリットを感じる change for jumping
- 家庭、地域等との連携
- ・学校便り等による保護者、地域への情報発信
- ・学校運営協議会を基軸に地域学校協働活動の推進、学校関り人口の増加、つながり響き合う教育の実践

〈本年度の到達目標・数値目標〉

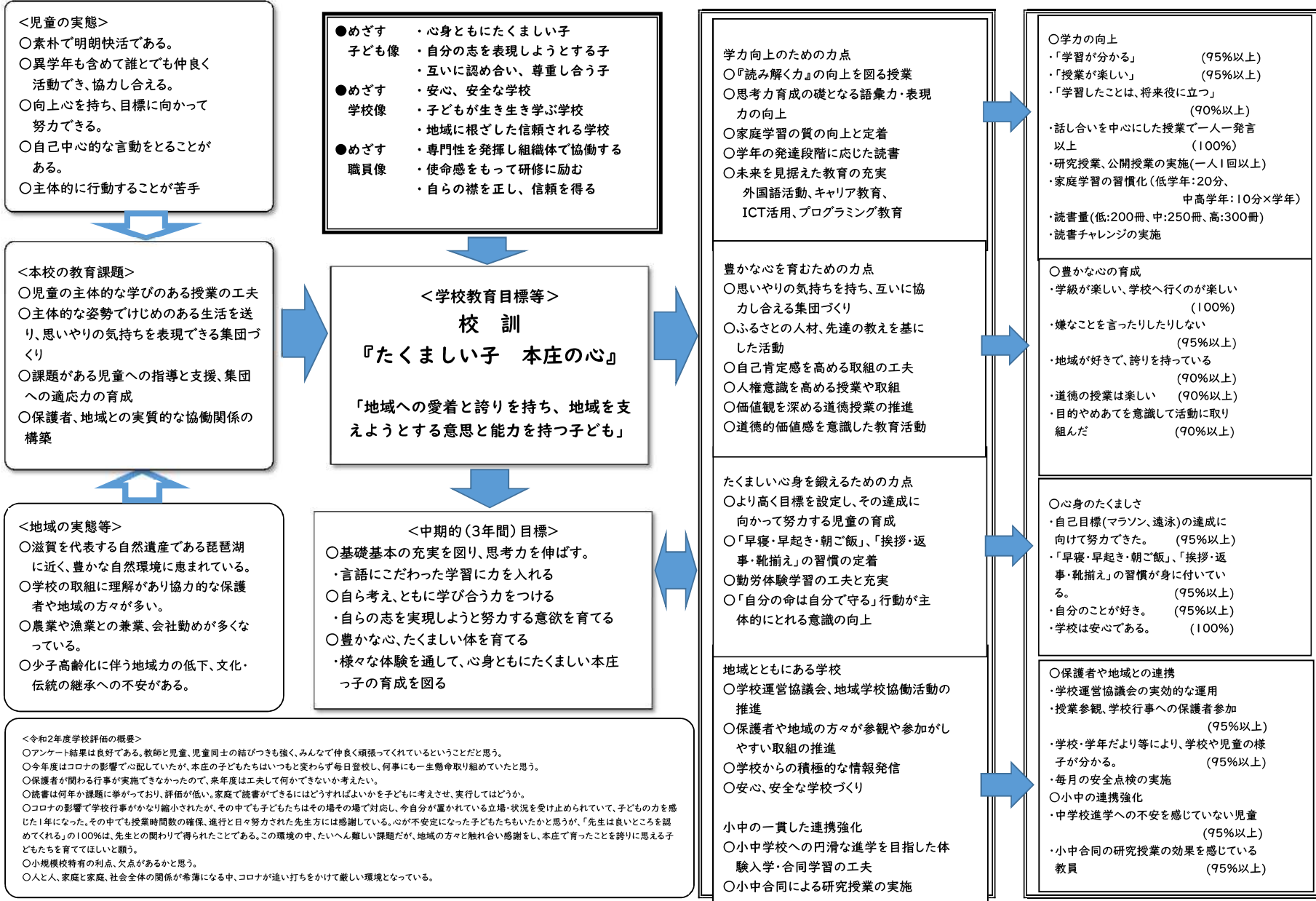
- 《確かな学力の向上》
- ・授業が楽しい、わかる
児童評価 90%以上
- ・相手の話をしっかり聞ける
児童評価 95%以上
- ・自らの課題に主体的に取り組む家庭学習と自主学習の習慣化。(家庭学習習慣)
- ・パワーアップタイムで基礎・基本が身についたと実感する児童評価 90%以上
- ・朝読書、図書貸出訪問、委員会活動による読書活動の活性化
- ・効果の上がる校内研究、校内研修とOJTの推進(ICT・プログラミング等)
- 《豊かな心と人間関係づくり》
- ・学校に来るのが楽しい
児童評価 90%以上
- ・学校、学級は居心地がよい
児童評価 90%以上
- ・自分も他者も大切に児童の育成
- ・いじめをしない、許さない児童の育成
- ・ソーシャルスキルトレーニングの実施
- ・自尊感情を育む、教職員の仕事かけ
- ・先生は自分の良いところを認めてくれる
児童評価 90%以上
- ・個別的教育支援計画、合理的配慮に基づく、きめ細かな指導と支援の実践
- ・藤樹先生の教えに学び、よりよく生きる道徳教育の推進
- ・縦割り活動、ペア活動による良好な人間関係の育成
- ・発達段階に応じたキャリア教育の推進
- 《たくましい健康と体づくり》
- ・高学年での体力の向上
- ・生活アンケート等による家庭への啓発と規則正しい生活習慣の確立
- 《小中一貫教育の推進》
- ・小中合同学習は、中学校進学への不安解消に役立った。
児童評価 95%以上
- ・部会の再編により、教師のつながり感を高める。
- 《家庭、地域等との連携》
- ・新たな学校支援ボランティアの発掘と組織化
- ・地域学校協働活動の一つとして広瀬学区でのマラソン大会の実施
- ・学校関り人口の増加のための取組

令和3年度 学校教育到達目標 高島市立青柳小学校



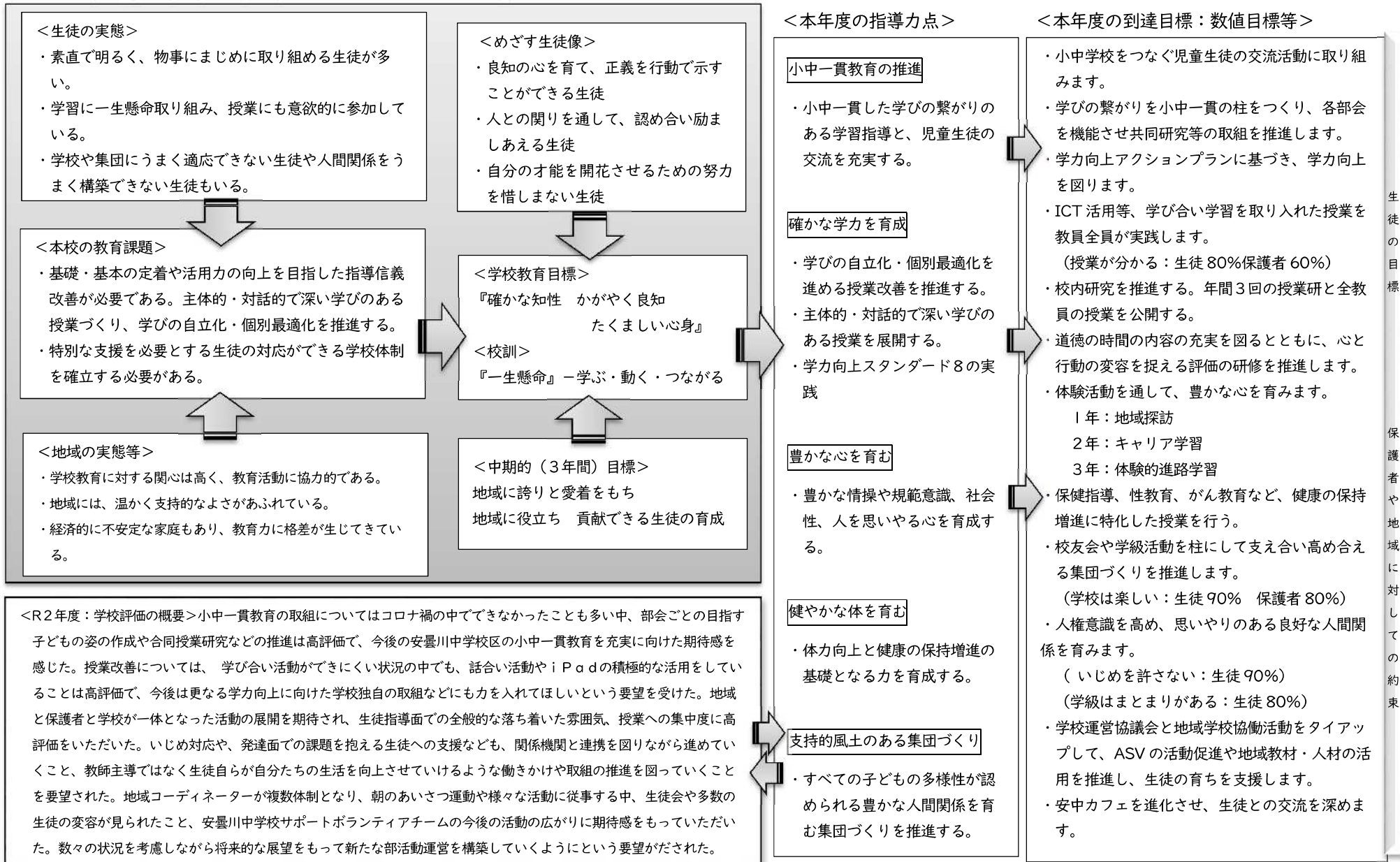
児童の目標・保護者や地域に対しての約束

令和3年度 学校教育到達目標 高島市立本庄小学校



令和3年度学校教育到達目標

高島市立安曇川中学校



生徒の目標

保護者や地域に対しての約束

令和3年度 学校教育到達目標

高島市立高島小学校

【本年度の指導力点】

【到達目標・数値目標】

<児童の実態>
 児童は明るく、真面目に一生懸命取り組むことができる。人間関係がこじれたり、偏った見方がされたりすると、その関係は固定化されてしまうことがある。このような中で、個々に課題のある子もあり、自己表現が苦手で自分の思いをうまく相手に伝えられなかったり、自分本位な判断をしたりして、よりよい人間関係を築けないことがある。

- 子ども像 ↑めざす ↓
- たくましく元気な子
 - かしこい判断ができる子
 - しっかり聴いて、よく考える子
 - まわりを思いやる子
- 学校像 ↑めざす ↓
- 学びを大切にする学校
 - 心を磨き高め合う学校
 - つながりを大切にする学校
 - 地域とともにある学校

<本校の教育課題>
 縦をつなぐ小中一貫教育を通して、自ら学び、正しく判断し、実践できる力と豊かな心を育み、横をつなぐ地域とともにある学校づくりにより、保護者や地域に信頼される学校を創造する。

<学校教育目標>
 確かな学力と豊かな心を身につけ、たくましく未来を拓く子どもの育成

<地域の実態等>

- 農山村部に位置し、新興住宅はあるが人口は減少傾向にある。
- 核家族や両親共働き家庭も多く、自宅に帰っても児童だけになったり、地域が広範囲のため群れて遊ぶ姿が見られなくなったりしてきた。
- 保護者・地域の方の学校教育への関心は高く、協力的である。

<中期的【3年間】目標(最終年)>

- 「主体的、対話的で深い学び」の実現をめざし、カリキュラムマネジメントに基づく授業改善を図る。
- 基礎基本の習得を徹底し、学び方を身につける。
- 道徳教育を軸に児童の個性や可能性を最大限に伸ばす指導を進める。
- 児童理解を深め、人間的ふれあいを基調にした指導の充実を図る。
- 児童の自主的体験的な活動を重視する。
- 家庭・地域との連携を密にし、開かれた学校づくりに努める。

<令和2年学校評価 概要>

- 確かな学力の定着[B]
 家庭学習の目標時間達成:C70%(児)/54%(保)、読書活動:B59%(児)/29%(保)
- 豊かな心の育成[B]
 道徳教育年間計画の改訂はできたが、集会活動や家庭・地域と連携した活動が十分できなかった
- 望ましい人間関係を土台にした生徒指導[B]
 いじめのない学校づくり:96%(児)、学級の友達を大切にしたい:96%(児)
 教育活動を工夫し、多様な人との交流活動を充実することはできなかった
- 健康な心と体の育成[B]
 基本的な生活習慣の定着、手洗いうがいの励行による病気の予防:91%(児)/81%(保)
- 小中一貫教育の推進[A]
 道徳科による合同研究の推進【道徳が楽しい79%(児)】
 第2ステージにおける教科担任制の拡充によるわかる授業【授業がよくわかる88%(児)】

【確かな学力のための力点】

- 子どもを真ん中においた個別最適な学びと、協働的な学びになる授業づくり
- 自主学習の習慣を確立
- 読書活動を活性化

【豊かな心の育成のための力点】

- 自分事として生き方を見つめる道徳教育の推進
- 心を耕し、豊かな感性を磨く教育活動の展開
- 主体性を引き出す児童活動の推進

【豊かな人間関係を結ぶ力を育成するための力点】

- 相手の立場を尊重し、人権意識の高い、いじめを許さない集団づくり
- 礼儀正しい節度ある生活態度(あいさつ、時間を守る、掃除)の育成

【健康な心と体の育成のための力点】

- 児童理解を土台にして、自己指導力の向上をめざす生徒指導の推進
- 命を大切に、健康で安全な生活実現を目指し、行動できる資質能力の育成
- 基本的な生活習慣の確立と食に関する指導の充実

【小中一貫教育推進のための力点】

- 小中合同授業研究会の充実
- 小中教員の交流指導による連続した指導の充実

【地域とともにある学校づくりのための力点】

- 学校運営協議会と地域学校協働活動の連携
- 協働して地域全体で子どもの成長を支える風土の醸成

- ・教材研究やOJT研修を充実させ、読み解く力の視点を踏まえた授業改善に取り組む。
 【タブレット活用した授業づくり100%(教師)】【月1回のOJTの実施100%(教師)】
- ・ゆめノートを活用した家庭学習の充実に取り組む。
 【家庭学習の時間を達成した児童が85%以上】【1・2年:30分、3・4年:30~50分、5・6年:60~70分】
- ・図書室の運営を見直し読書環境を整備し、図書の貸出し冊数を増加させる。
 【読書冊数目標到達70%(児)/50%(保)】

- ・他の教育活動と連携した道徳カリキュラム(別様)を着実に進め、日常に立ち返る道徳教育を進める。
- ・児童会活動を再編成し、特別活動の活性化を図り、児童の主体的を引き出す活動に取り組むとともに、望ましいリーダーの育成を図る。
 【学校生活の楽しさ:80%(児)/75%(保)】
- ・文化芸術に直に触れ、豊かな情操を養う。

- ・「ゆめタイム」や児童集会、行事等を通じて、友達や多様な人々との交流の機会を増やす。
- ・いじめのアンケートや啓発によるいじめ未然防止。
 【いじめがなく学校生活が楽しい95%(児)】
- ・人権意識を高めるための日常的な指導を充実する。
 【学級の友達を大切にしたい95%以上(児)】
- ・縦割り遊びや縦割り掃除を設定し、望ましい縦割集団と真面目に取り組む態度を育成。
 【あいさつ、時間、そうじ85%以上(児童)】

- ・生徒指導の3機能意識した教育活動を展開し、一人ひとりの児童に居場所がある学級づくりを進める。
- ・児童理解のための教育相談の機能を充実する。
 【困っていることを先生に相談できる85%(児)】
- ・感染症等から身を守るための健康行動を定着させる。
 【手洗い、うがい、歯磨き等の病気の予防95%(児童)】
- ・食育や睡眠の大切さを理解させ、基本的な生活習慣を確立するための指導を繰り返す。
- ・PTAと協働した活動として、『ノーテレビデー』の取組を定着させる。

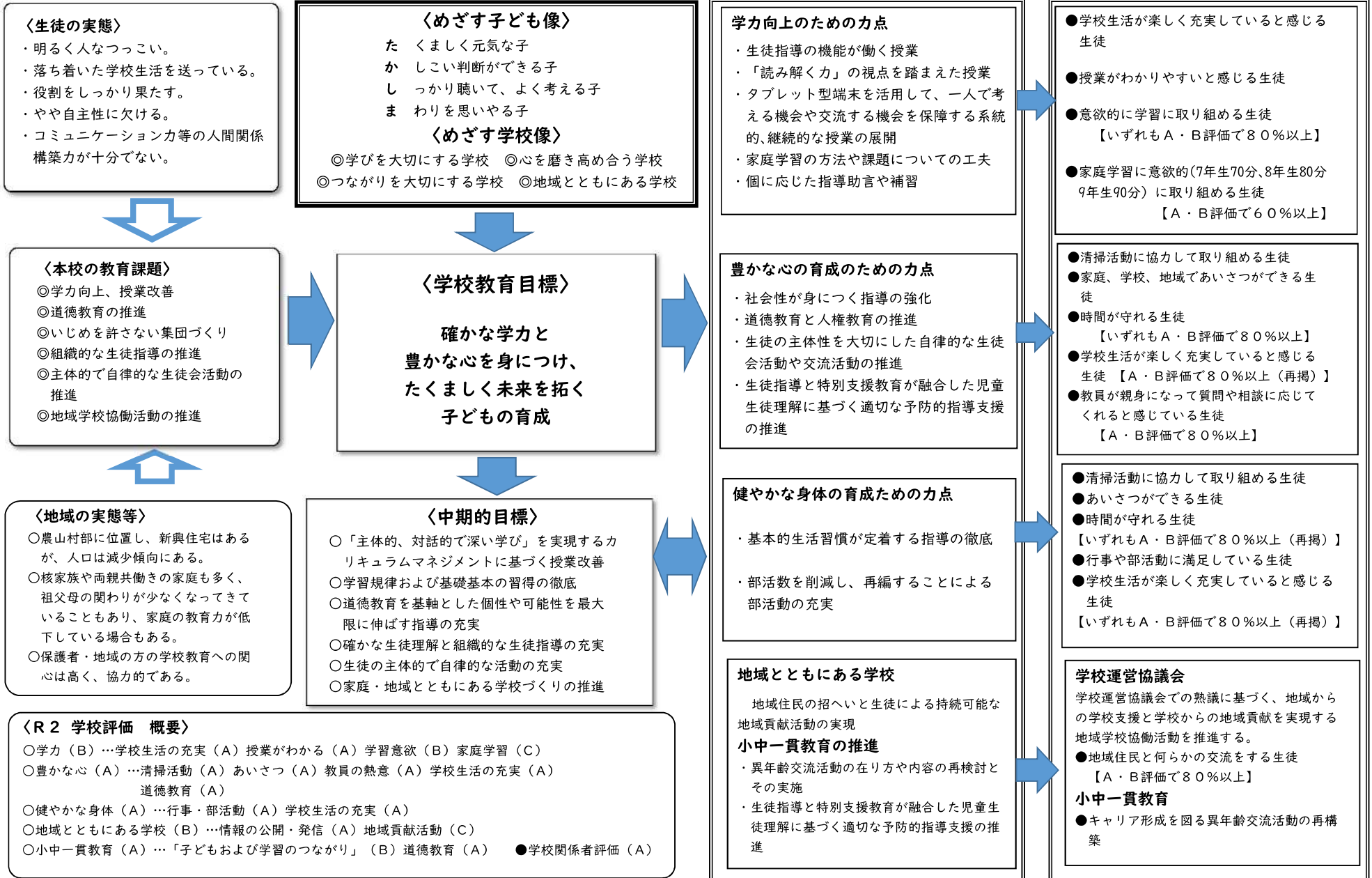
- ・小中合同の研究組織を3部会体制とし、部会ごとの教育課題に基づいて、定期的合同研究会を開催する。
- ・小中教員の交流授業を進め、小学校の教科担任制と中学校での複数指導の拡充を図る。
- ・児童生徒が互いに交流する教育活動を進める。

- ・学校運営協議会を開催し、地域学校協働活動と連携した教育活動に取り組む。
- ・空き教室を活用し、地域人材交流の場を設ける。
- ・学校・学園情報を発信し、地域の人々の学校理解を図る。

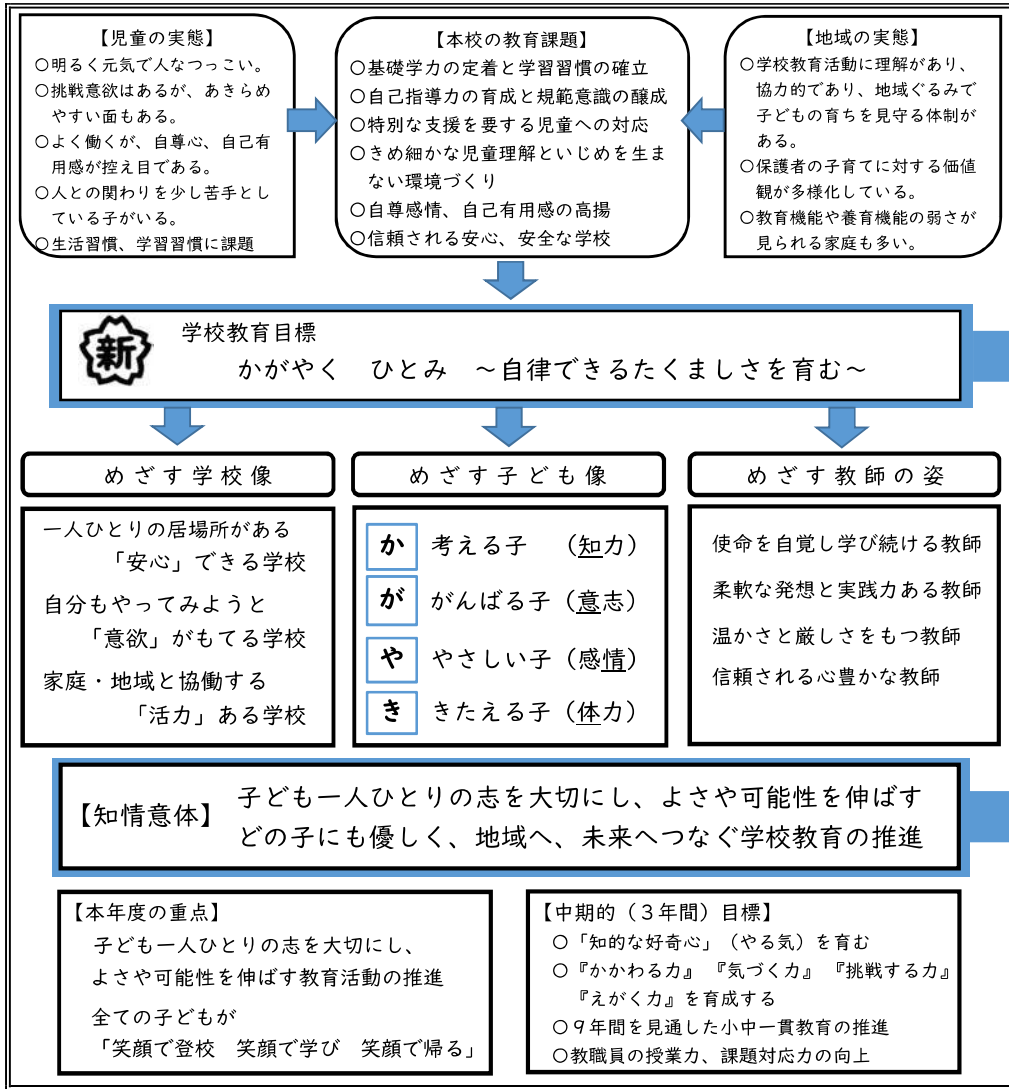
令和3年度 学校教育到達目標 高島市立高島中学校

【本年度の指導力点】

【到達目標・数値目標】



令和3年度 学校教育到達目標 高島市立新旭南小学校



令和2年度 学校評価の概要

◎学ぶ力の育成 全員参加の授業づくり (B) 基礎・基本の定着 (B) 学習規律・学習習慣の確立 (B)

◎豊かな心の育成 互いの違いを認める心の育成 (A) 思いやりの心の育成 (B) 豊かな人間性・社会性 (A) 特別支援教育の充実 (A) 凡事徹底の学校風土の構築 (B)

◎たくましい心身 健康への意識向上 (B) バランスのとれた体力・運動能力の育成 (B) 危機管理意識の向上 (C)

◎教職員の教育力 学び続ける姿勢と学び合う教職員集団 (B) チームで勝負する教職員集団 (A)

◎地域とともにある学校づくり 良きパートナーとしての協力体制の構築 (A) 学校運営協議会の充実 (B)

【本年度の指導力点】

- 考える子：学ぶ力の育成
- ◎子どもと創り上げる授業（授業改善）
 - ①魅力ある学習課題、導入、発問の工夫
 - ②教師の役割の転換。子どもと子どもをつなげる支援を充実させる。
 - ③聴き合う教室による「伝え合う力」の向上。
 - ④「学びに向かう姿勢」「読み解く力」の育成
 - ◎基礎・基本の定着
 - ①個別最適な学び
 - 授業のユニバーサルデザイン化
 - ICT機器の効果的な活用
 - ②全員参加のための協働的な学び
 - ③学習規律、学習習慣の確立
 - 学習に向かう構えづくり
 - 家庭学習、読書活動の充実
- 優しい子：豊かな心の育成
- ◎互いの違いを認める心の育成（人権教育）
 - 相手の気持ちに寄り添う心（共感力）を育み、励まし合う関係づくりに努める
 - ◎思いやりの心を育む（道徳教育）
 - ◎特別でない特別支援教育の推進
 - 不公平感を感じさせず、周りの子への配慮を忘れず、対応を教えていく（支援者を育てる）
 - ◎凡事徹底の学校風土の構築
 - 当たり前前（の）ことが当たり前前（の）子へ
- がんばる子：主体性の育成
- ◎「個」が生きる「集団」づくり（特別活動）
 - ①「I」を伸ばす：自己成長（自分の中にある能力を伸ばす）
 - ②「We」の世界を広げる：人と社会と関わる力（自分の中の優しさ）を伸ばす
 - ◎豊かな人間性、社会性を育む（キャリア教育）
 - 所属意識、自尊感情、自己有用感を育む
 - やり切る姿勢（やり抜く力）を伸ばす
 - ◎生徒指導の3つの機能を生かす
- きたえる子：たくましい心身の育成
- ◎健康への意識向上
 - ◎バランスのとれた体力の育成
 - ①魅力ある体育授業（授業改善）
 - ②運動に親しむ環境づくり
 - ◎安全を守る意識と実践力の向上
 - 安全な学校を目指した教育課程の編成
- 教職員の教育力を高める
- ◎学び続ける姿勢と学び合う教職員集団
 - ①学校運営参画意識の向上
 - ②OJT研修の充実（多様で多面的OJT）
 - ◎「チーム」で勝負する教職員集団
 - ①生徒指導、教育相談の充実
 - ②報告・連絡・相談・記録の徹底
 - ◎危機管理意識の向上
- 地域とともにある学校づくり
- ◎学校運営協議会と地域学校協働活動の一体化
 - 南小夢の会との連携重視
 - 学校運営協議会委員との熟練の充実
 - 地域資源を生かした学校づくり
 - ◎保幼小中一貫教育の推進

【到達目標・数値目標】

- 考える子：学ぶ力の育成
- ◎子どもと創り上げる授業（授業改善）
 - ①児童、保護者の授業評価 90%以上
 - ②授業改善への自己評価 90%以上
 - ③聴き合う教室の実現 90%以上
 - ④つなぐ役割の実践 80%以上
 - ◎基礎・基本の定着
 - ※個別最適な学び、協働的な学びの実現
 - ①学習意欲の向上 90%以上
 - ②わからないことを質問できる 90%以上
 - ③ICT活用への自己評価 80%以上
 - ※学習規律、学習習慣の確立
 - ①学習に向かう構えづくり 90%以上
 - ②家庭学習を進んでする 90%以上
 - ③平日30分以上の読書 80%以上
- 優しい子：豊かな心の育成
- ◎互いの違いを認める心の育成（人権教育）
 - ①学校が楽しい 90%以上
 - ②仲の良い友達がいる 90%以上
 - ③仲間はずれ、いじめなし 90%以上
 - ◎特別でない特別支援教育の推進
 - ①個別の支援計画の活用
 - ②教育支援委員会の充実
 - ◎凡事徹底の学校風土の構築
 - ①しっかりとあいさつができる 90%以上
 - ②決まり、ルールを守る 90%以上
- がんばる子：主体性の育成
- ◎「個」が生きる「集団」づくり（特別活動）
 - ◎豊かな人間性、社会性を育む（キャリア教育）
 - ①自分には良いところがある 90%以上
 - ②最後まで努力できる 90%以上
 - ③目標に向かってみんなで協力する 90%以上
 - ◎生徒指導の3つの機能を生かす
- きたえる子：たくましい心身の育成
- ◎健康への意識向上
 - ①健康安全に気をつける子 90%以上
 - ※保護者評価 80%以上
 - ②早寝・早起き・朝ご飯 90%以上
 - ③進んで運動に取り組む 90%以上
 - ◎安全を守る意識と実践力の向上
- 教職員の教育力を高める
- ◎学び続ける姿勢と学び合う教職員集団
 - ①学校運営参画意識の向上 90%以上
 - ②定期的なOJT研修の実施
 - ◎「チーム」で勝負する教職員集団
 - ①悩みを出し合える職員室
 - ②学び合える職員室
- 地域とともにある学校づくり、保護者、地域評価
- ◎安全・安心な学校 90%以上
 - ◎相談しやすい学校 90%以上
 - ◎情報提供の充実 90%以上
 - ◎協働、相互参画による教育活動の充実
 - ◎学校関わり人口の増加

〈児童の実態〉

- ・素直でやさしい。
- ・学習や活動に真摯に取り組む。
- ・異年齢の結びつきが強い。
- ・気力や自主性がやや乏しい。
- ・学力や体力に二極化の傾向がある。

〈めざす子ども像〉
 相手の立場に立つて行動する子
 いじめをしない、許さない子
 集中してこつこつ取り組む子
 自分で考え、課題解決に向け行動できる子
 「チャレンジする意欲」「のびる楽しさ」「できる喜び」が体感できる学校
 規則正しい生活リズムで過ごす子

〈めざす学校像〉
 互いに笑顔で向き合える学校
 個々の良さを認め、自覚できる学校
 心が通い合い、思いやりのある学校

〈めざす教師像〉
 笑顔を決やさず、元気を出して支持的な学級集団をつくる教師
 子どもの目線を忘れず、ともに活動する教師
 人権感覚を高め、子どもを見守る教師
 専門性を生かし子どもの学ぶ意欲を刺激する教師
 学び合い、高め合う雰囲気のある教師集団

〈本校の教育課題〉

- ・「家での勉強をしっかりとっているか」(子どもの達成率86% 保護者の意識80%)達成できない児童・家庭への啓発。
- ・自分からあいさつができた。(子ども87%、職員53%)意識に差。「相手の顔を見て」・「誰にでも」を克服。
- ・ゲーム等決められた時間を守れているか」(子ども85%保護者評価60%)認識・意識の差を埋めることが必要。
- ・「早寝早起き朝ごはんの生活リズムがついている」(子ども保護者とも80%超)に比べ、「夜10時までに寝る」(子ども71%)を改善。

〈学校教育目標〉
自ら考え 変化に挑む子

“夢や目標に向かい、
 アイデアを出し合い、高め合い、
 支え合う子ども”

〈地域の実態等〉

- ・豊かな自然、文化に恵まれ、古くからの風習が息づいている。
- ・人々は温厚であり、教育に対する関心が高く、協力的である。
- ・地域によって児童数の増減に偏りがある。

〈中期的目標〉

- ・豊かな人間性、自主性、社会性の育成と学力向上
(生活習慣・学習習慣の確立)
- ・教員の専門性の向上
(ファシリテーション力・探究的授業へ対応)
- ・地域住民とともに意識改革
(地域住民との協働、地域とともにある学校)

〈令和2年度学校評価 概要〉

〇コロナ感染症対策で学校が多忙感を増す中、地域の協力を得ながら前向きに教育活動が展開された。

〇タブレットパソコンの導入、プログラミング学習、オンライン授業…時代の変化に合わせた対応ができている。何ができるかを考えて、体験活動も積極的に取り入れたことは、子どもたちにとっても意義深いものとなった。

〇学力の定着しにくい子、学校を歩き回る子など、個別の対応はたいへんな苦労があると思うが、継続をしてほしい。

つながり響き合う教育の推進

☆ **タテのつながり**
 湖西中学校区保幼小中一貫教育の推進
 『学び合い』に視点を当てた授業・保育交流の推進
 子どもの交流活動の充実

☆ **ヨコのつながり**
 地域学校協働活動の活性化
 地域と学校が一体となって子どもを育てる意識の醸成
 地域住民の学校運営への参画

☆ **未来とのつながり**
 将来を見据えた教育活動の展開
 キャリアパスポートの活用により自分の未来を描く
 社会や団体への貢献を感じる活動の展開

つながり響き合う教育の推進

☆ **タテのつながり**
 「保幼小中一貫教育を有意義に感じ、積極的に取り組んでいる。」および「つながりを意識して自己の授業づくりに取り組んだ」(職員評価)で100%の継続。

☆ **ヨコのつながり**
 学校運営協議会委員の学習・学校生活参観を3回以上実施し、子どもたちとふれあい、活動につなげる。
 地域住民が集える場としての学校を推進し、住民と児童・教員の交流を深める。

☆ **未来とのつながり**
 各学年、学期ごとに「キャリア教育の視点を生かす重点単元」を指定し、指導する。
 郷土の良さを学ぶ(藤本太郎兵衛、針江かばた、高島晒)に積極的に取り組む。

やさしい子 かしこい子 強くたくましい子の育成

☆ **やさしい子**
 思いやりのある、差別やいじめのない学校づくり
 基本的な生活習慣・行動様式の定着

☆ **かしこい子**
 学習規律を整え、秩序を大切に授業づくり
 ペアやグループで主体的に学び合う言語活動の充実
 「読み解く力」を重点においた授業づくり
 ICTを活用した学び方改革

☆ **強くたくましい子**
 遊びを通した仲間づくりと体力づくり
 運動能力向上の全校的な取組の推進
 「早寝早起き朝ごはんと正しい生活リズム」の推進

やさしい子 かしこい子 強くたくましい子の育成

☆ **やさしい子**
 たてわり活動・あいさつ運動・読書活動を推進する。
 「時と場に応じた言葉遣いができている」
 (子ども90%、教師70%)

☆ **かしこい子**
 「学習規律が定着、学習にメリハリ」「授業改善に取り組む」(ともに教師100%)
 全学級でガッテンプリントを活用する。
 オンラインミーティングを発展させる。プログラミング学習出前授業を継続する。

☆ **強くたくましい子**
 なわとび マラソン等強化月間を継続するとともに、「体育の宿題」に年間を通して取り組む。
 「生活リズムができて」「10時までに就寝」保護者評価 90%以上。

令和3年度学校教育到達目標【湖西中学校】

＜生徒の実態＞
 ○生徒会や部活動を中心に建設的なリーダーが育っている。
 ○あいさつができ、真面目な生徒が増えている。
 ○大半は学習規範があり、落ち付いて授業に取り組んでいる。
 ○学校での諸活動を真剣に取り組む生徒が増えている。
 ▲自己有用感が育っていない。
 ▲人間関係の構築が苦手な生徒がいる。
 ▲支援を必要とする生徒が増えてきている。
 (学習支援、集団不適應、不登校傾向)

＜地域の実態＞
 ◇地域の支援がより強力になっている。
 ◇昭和から平成にかけての転入者の増加は、地域を大きく変化させた。
 ◇平成の町村合併で本校学区に市役所本庁が置かれ、令和の始まりからは、全ての機能が集中し、地域の様相は変わり続けている。
 ◇社会の変化は、校区でも同様で、子どもたちの育ちへの影響が大きい。

＜R2学校評価 自己評価 概要＞
 ◇確かな学力を育む教育活動 [B]
 ◇豊かな心を育む教育活動 [A]
 ◇自然や地域と共生する力を育む教育活動 [A]

＜R2学校評価 学校関係者評価 概要＞
 ◇学校の教育目標を達成できている。 [A]
 ◇「学而事人」を掲げ、コミュニティスクールを推進することができた。 [A]
 ◇コロナ禍で教育課程を変更しせざるを得なかったが調整できていた。 [A]
 ◇生徒の気持ちに寄り添い、生徒支援が行き届いていた。 [A]

＜学校教育目標＞
 心豊かで、たくましく生きる生徒の育成
＜めざす生徒像＞
 「自他を大切にし、主体的・協同的に 学ぶ生徒」
＜めざす学校像＞
 「活力と思いやりがあふれる学校」

＜学校経営、教科指導上の課題＞
 ◇学びに向かう力や人間性の育成
 ◇人間関係を構築する力の育成
 ◇いじめを許さない集団づくり
 ◇多様な価値観、人間性の育成
 ◇自己指導能力の向上

＜中期 集団づくり
 ◇初年度…互いに認め合い、高め合う
 行動する生徒の育成
 ◇2年次…課題解決に向け、たくましく
 生きる生徒の育成
 ◇3年次…地域に愛着をもち、貢献できる
 生徒の育成

＜校内研究＞
 「SDGsを軸にした教育実践を通じて行う公正・公平で質の高い学習機会の創造」
 ・SDGs目標14「質の高い教育をみんなに」をめざす。
 ・「世界」「社会」とつながる学校をめざす。
 ・各教育活動をSDGs達成に意識改善を図る。

＜本年度の取組重点＞
 ○豊かな心を育む教育活動
 ・生徒理解をベースとした一人ひとりを大切に
 した生徒指導を推進する。
 ・いじめ防止に努め、早期発見・組織的対応
 を徹底する
 ・地域と共に、他を思いやる心を育て
 人権意識の向上を図る。
 ・地域や保護者、学校が一体となって
 心豊かでたくましく生きる生徒を育てる。

○確かな学力を育む教育活動
 ・正しい学習規律の定着を図る。
 ・ICT活用を強く推進する。
 ・協同的で深い学びのある授業をつくる。
 ・補充学習や質問教室の充実を図る。
 ・「読み解く力」を育成する授業づくり
 ・保幼小中一貫教育を推進する。
 ・キャリア教育を基礎に進路学習を進める

○健やかな身体を育む教育活動
 ・運動部活動等の活性化を図るとともに、
 ・保護者や地域と連携して正しい生活習慣
 の育成を図る

○地域と融合し、学而事人を図る教育活動
 ・郷土の自然や歴史、先人の教えなど、地
 域資源を教育活動に生かす。
 ・保護者や地域に信頼され、開かれた学
 校づくりに努める。
 ・学而事人の教えを進め社会に貢献できる
 生徒を育成する
 ・高島市に愛着をもち、町づくりに参加する。
 ・SDGs 達成に向けた取組を実践する。

・学校運営協議会と地域学校協働本部との一
 体化を図り、コミュニティスクールを推進する。

＜本年度の到達目標:数値目標等＞
 ・礼儀を重んじ、あいさつを大事にしている
 生徒 80%
 ・あらゆる機会を通して、生徒との対話を大
 切にし、生徒や保護者と信頼関係がある。80%
 ・学級活動や道徳、生徒会活動を通じて
 学校づくり行い、いじめを無くす。80%
 ・地域学校協働活動を充実させ、
 生徒の社会性や思いやりを育てる。80%
 ・人権意識を高める道徳を行う。80%
 ・少人数指導等による個に応じた最適な
 指導の充実を図る。80%
 ・ICT機器を効果的に活用する。80%
 ・「めあて」を明示し、「振り返り」を行う
 授業づくりに努める。80%
 ・ペアやグループでの学び合う活動を充実を
 図ります。80%
 ・課題解決的な授業を推進し読み解く力を身に付ける。80%
 ・保幼小中の連携を図り、学習規律の定着や
 学習の習慣化を図ります。80%
 ・キャリア教育を積み上げ、進路実現を図る。
 80%

・運動部活動において、健全な心と身体の内
 容を育成を図ります。 80%
 ・家庭や地域と連携し、生活習慣の改善や食
 育の推進に努めます。 80%

・地域の方々の協力を得て、郷土のよさに触
 れる体験活動を実施します。80%
 「地域の先人の教え」「清水山城散策」
 「ふるさとウォーク」「ヨシ刈り」「環境学習」
 「進路座談会」「志学のつどい」「職場体験学習」
 ・地域学校協働活動の意義と成果を保護者
 や地域には強く発信します。80%
 ・地域の指導者とともに進路教育活動を積極
 的に取り入れます。80%

・年間を通して「学而事人・SDGs達成」を進める。成果
 を上げ、高島市の将来を担う人材を育成する。80%